

広告特集

企画 朝日新聞社広告局

シームレスな医療体制で「脳卒中」に対応

急激に発症し、対応が遅れると重大な後遺症が残ったり、最悪の場合は死に至るケースも少なくない「脳卒中」。超高齢化を背景に脳卒中患者が増え続けている現在、救急救命からリハビリテーション、社会復帰支援までを、継ぎ目無くフォローする医療体制の構築が急がれている。脳卒中の最新治療や、地域ごとの医療連携について、福岡大学筑紫病院脳神経外科の風川清教授と堤正則講師(こう脳神経外科クリニックの呉義憲院長に話を聞いた。

迅速な連絡と最新治療で障害を最小限に
生活習慣病の広がり
患者数も増加傾向に

「脳卒中」とはどのような疾患でしょうか。
「脳内の血管が詰まったり破れたりすることにより、脳の働きに障害がもたらされる状態をいいます。脳の動脈が詰まって生じる『脳梗塞』が、最も多い病態ですが、さらに脳内の細い動脈が詰まって生じるラクナ梗塞、太い動脈に生じた動脈硬化が原因のアテローム血栓性脳梗塞、心臓の不整脈などでできた大きな血栓が脳内の動脈を詰まらせて生じる脳塞栓症に分けることができます。脳内の細い動脈が破れ出血する『脳内出血』、脳の底面にある『くも膜』の下に動脈瘤(りゅう)が発生して破裂する『くも膜下出血』も、脳卒中の病態の一つです」
「脳卒中が発生する原因は、
「高血圧や脂質代謝異常、糖尿病などを放置し、動脈硬化が進むことが原因の大半を占めています。治療法の進歩により死亡率は低下していますが、生活習慣病の広がりによって患者数そのものは増加傾向が続いています」

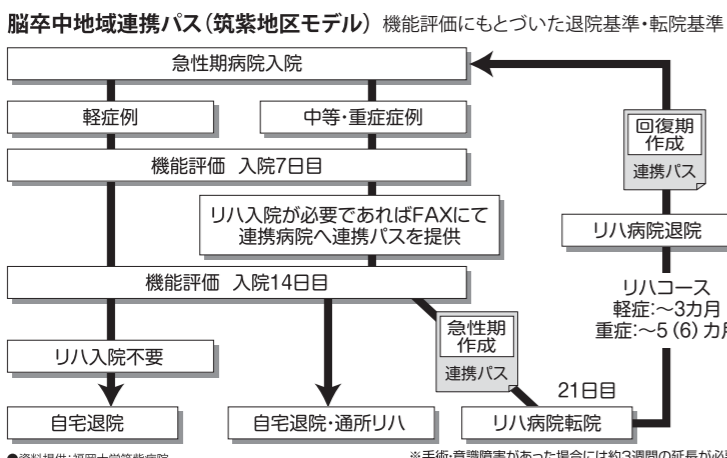
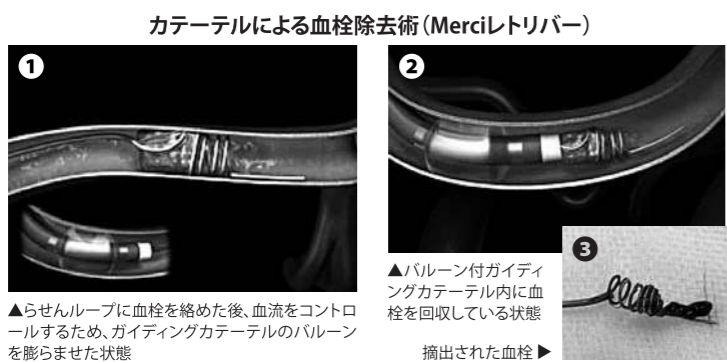
脳血管内治療の発展で低侵襲な治療が可能に

「どんな治療法がありますか。
「出血あるいは血管が閉塞した部位、程度、患者さんの状態に合わせて、内服や点滴、手術など、最適と思われる治療法を選択します」

近年、脳梗塞の治療には、『tPA』という薬の静注療法が多く使われるようになり、発症3時間以内なら後遺症の発生を高率に回避できる治療法として注目されています。ただし、手足の麻痺などが劇的に改善することがある反面、すべての脳梗塞に使用できるわけではなく、脳出血などの合併症が生じる危険性もありますので、専門医の厳密な判断が重要です」
「手術が必要な場合は『開頭手術』ですか」
「生命の危険性がある脳内出血や動脈瘤では開頭手術が適している場合もありますが、近年は開頭しない『脳血管内治療』も数多く行われるようになってきました。これは、大動脈から挿入したカテーテルを脳内の

急性期から維持期までの治療を「脳卒中地域連携パス」でスムーズに

病変部位まで到達させ、梗塞の原因となつている細い血管をバルーンで広げたり詰まっている血栓を除去します。またコイルで動脈瘤を充填して破裂を防ぐこともできます。開頭術と比較して低侵襲なので、高齢者などには優しい治療法と言えるでしょう」



様々なメリットを生む「脳卒中地域連携パス」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」
「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

「急性期施設と慢性期施設が、患者さんの治療情報を双方に確認し合える『脳卒中地域連携パス』を活用します」

医療法人 光竹会 脳神経外科 クリニック
あなたの大切な命を守り 健康な日々を過ごすために
診療科目: 脳神経外科, 呼吸器内科, リハビリテーション科
診療時間: 平日 8:30~12:00, 14:00~18:00, 土曜日 8:30~13:00, 休診日 日曜日・祝日
〒811-1244 福岡県筑紫郡那珂川町山田1150-1 TEL 092-951-5219

日々過ごす よろこびを…。
デイサービスセンター
●通所介護
●介護予防通所介護
ケアプランセンター
●居宅介護支援事業所
デイサービス TEL 951-0753 FAX 951-0755
ケアプラン TEL 951-0756 FAX 951-0755
http://www.med-brain.com/ (株)メディカルブレイン
福岡県筑紫郡那珂川町西限1丁目19-10

「安心できる生活」「自分らしい生活」を提供する 住宅型有料老人ホーム
ご入居できる方 要介護・要支援 満60歳以上の方
全室個室(18.00㎡) プライバシー重視で全室個室をご用意。
福岡県筑紫郡那珂川町道善1-121 092-951-1165 http://www.kouchikukai.or.jp/g1